

# 平成24年度 12月期（第5期）第2四半期 決算説明会

平成24年8月10日  
ラクオリア創薬株式会社



RaQualia  
innovators for life

2012年12月期 第2四半期実績	5
2012年12月期 通期業績修正の内容	9
成長に貢献するプログラムの進捗	11
新体制への移行	15

7

- 07.23 - EP4拮抗薬の医薬品原薬開発契約の締結
- 07.25 - EP4拮抗薬の日本における特許査定

8

- 08.01 - 東京大学大学院医学系研究科コンチネンス医学講座との共同研究契約延長

1

- 01.26 - アシッドポンプ拮抗薬の韓国における特許査定

2

- 02.08 - 統合失調治療薬ジプラシドンの日本国内における臨床第II相試験開始

3

- 02.29 - 5-HT<sub>4</sub>受容体部分作動薬の第I相試験開始に関する承諾
- 03.14 - アシッドポンプ拮抗薬の中国における特許査定

4

- 04.24 - 5-HT<sub>2B</sub>拮抗薬の前臨床開発ステージへの移行

6

- 06.01 - 5-HT<sub>4</sub>受容体部分作動薬の臨床第I相試験を英国で開始



# 2012年12月期 第2四半期実績

(単位:百万円)

	2011年12月期		2012年12月期	
	(実績)		(上期実績)	増減率(%)
	上期	通期	1月-6月	前年同期比
売上高	602	684	-	-
事業費用	1,172	2,600	1,330	13%
営業損失	△570	△1,916	△1,330	133%
営業外損益	32	10	△273	-
当期純損失	△539	△1,916	△1,604	197%

## 決算ハイライト

- ・ 導出交渉中の案件につき、契約に至らず、売上高の計上はゼロとなりました。
- ・ 事業費用については、前年同期に比較し、研究開発費等の増加により、13%の増加となりました。
- ・ 営業外損失として、米国アラタナ社株式に対する「投資損失引当金」の計上(294百万円)を実施いたしました。

# 2012年12月期 第2四半期 貸借対照表

(単位:百万円)

	2011年12月末		2012年6月末		増減率 (%)
	(前縁実績)	構成比(%)	(当期実績)	構成比(%)	
<b>流動資産合計</b>	7,783	93%	6,495	95%	△16%
現預金	7,672	92%	6,310	93%	△18%
その他	110	1%	185	2%	68%
<b>固定資産合計</b>	595	7%	311	5%	△47%
有形無形固定資産	94	1%	95	1%	1%
投資・その他	501	6%	216	3%	△57%
<b>資産合計</b>	8,379	100%	6,806	100%	△19%
<b>負債合計</b>	204	2%	228	3%	11%
<b>純資産合計</b>	8,174	98%	6,578	97%	△19%
<b>負債・資本合計</b>	8,379	100%	6,806	100%	△19%

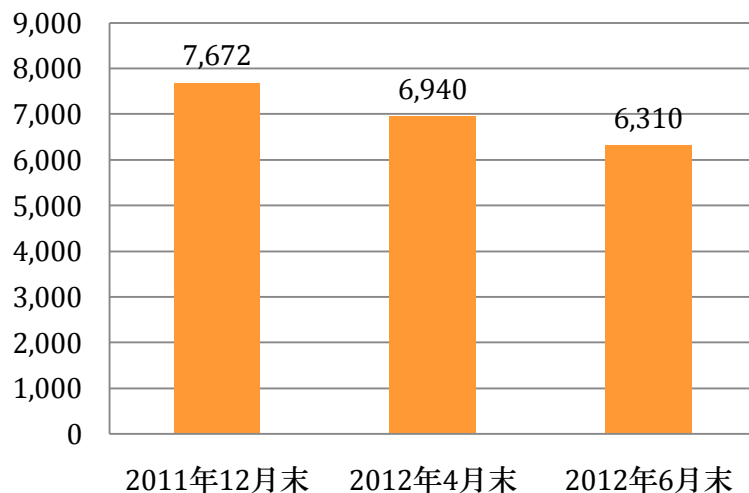
## 決算ハイライト

- ・ 2011年12月末比で、現預金は13.6億円減少しました。
- ・ 2011年12月末比で、投資・その他は2.9億円減少しました。評価性の「投資損失引当金」計上によります。
- ・ 2011年12月末比で、純資産合計は15.9億円減少しました。

# 現預金残高の推移/コスト構造（事業費用）

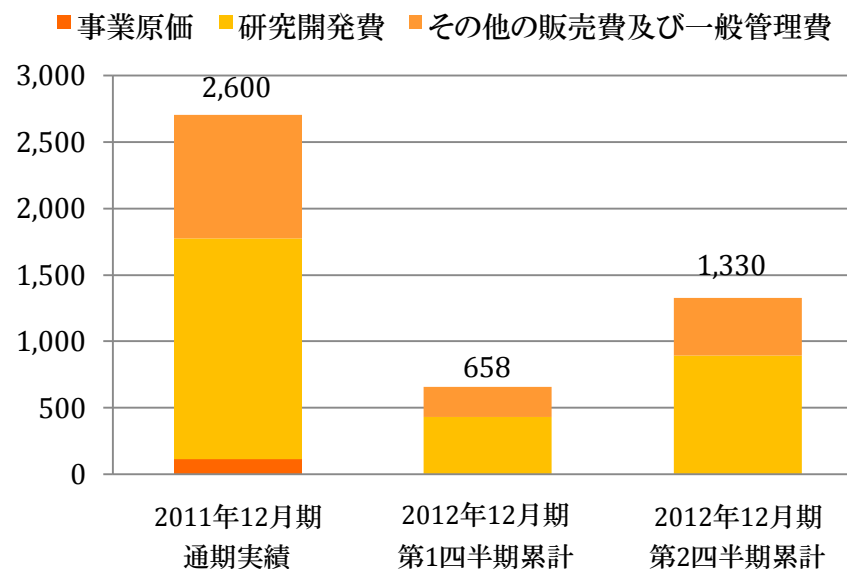
## 現預金残高の推移

（単位：百万円）



## 事業費用の推移

（単位：百万円）



### ハイライト

第2四半期累計期間において、月平均使用資金は2.27億円となりました。

### ハイライト

第2四半期累計期間において、研究開発費は8.9億円(前年同期7.5億円)、販売費及び一般管理費は4.3億円(前年同期4.1億円)となりました。





RaQualia  
Innovators for life

# 2012年12月期 通期業績修正



# 通期業績修正の内容

(単位:百万円)

	事業収益	営業損失	経常損失	当期純損失
平成24年度通期(計画) A	1,636~2,178	△1,666~△1,168	△1,647~△1,148	△1,700~△1,202
平成24年度通期(修正) B	100~600	△2,841~△2,356	△3,108~△2,623	△3,112~△2,627
増減額(B-A)	△1,536~△1,578	△1,174~△1,186	△1,461~△1,475	△1,425~△1,411
(ご参考)平成23年度(実績)	684	△1,916	△1,906	△1,916

## 2012年の収益構造

### 契約一時金収入

- Anidulafungin (国内)
- アシッドポンプ拮抗薬 RQ-00000004  
(国内およびGlobal)
- COX-2 阻害薬 RQ00317076  
(国内・中国・アジア)
- EP4拮抗薬RQ-00000007  
(Global)

### マイルストーン収入

- Lilly共同研究 開発化合物決定
- Aratana 動物薬 RQ-00000005



# 成長に貢献するプログラムの進捗

プログラム	化合物コード	導出先	権利
EP <sub>4</sub> 拮抗薬	RQ-00000007	丸石製薬	日本、韓国、中国、台湾 (注射剤)
		Aratana Therapeutics Inc.	全世界 (動物薬)
アシッドポンプ拮抗薬	RQ-00000004 RQ-00000774	CJ 第一製糖	韓国、中国、台湾
グレリン受容体作動薬	RQ-00000005	Aratana Therapeutics Inc.	全世界 (動物薬)
ダルババンシン (抗MRSA抗菌剤)	RQ-00000002	Durata Therapeutics Inc.	日本
ジプラシドン(統合失調症・ 双極性障害薬)	RQ-00000003	Meiji Seika ファルマ	日本
5-HT <sub>4</sub> 部分作動薬 (消化管領域)	RQ-00000010	CJ 第一製糖	韓国、中国、台湾、インド、 東南アジア
特定のイオンチャネル		Eli Lilly and Company	全世界

## ライセンスパートナー

**meiji**

Meiji Seika ファルマ株式会社

*Lilly*

 丸石製薬株式会社

 **CHEILJEDANG**

 **Aratana**  
THERAPEUTICS

  
**DURATA**  
THERAPEUTICS







RaQualia  
Innovators for life

# 新体制への移行



## 基本方針

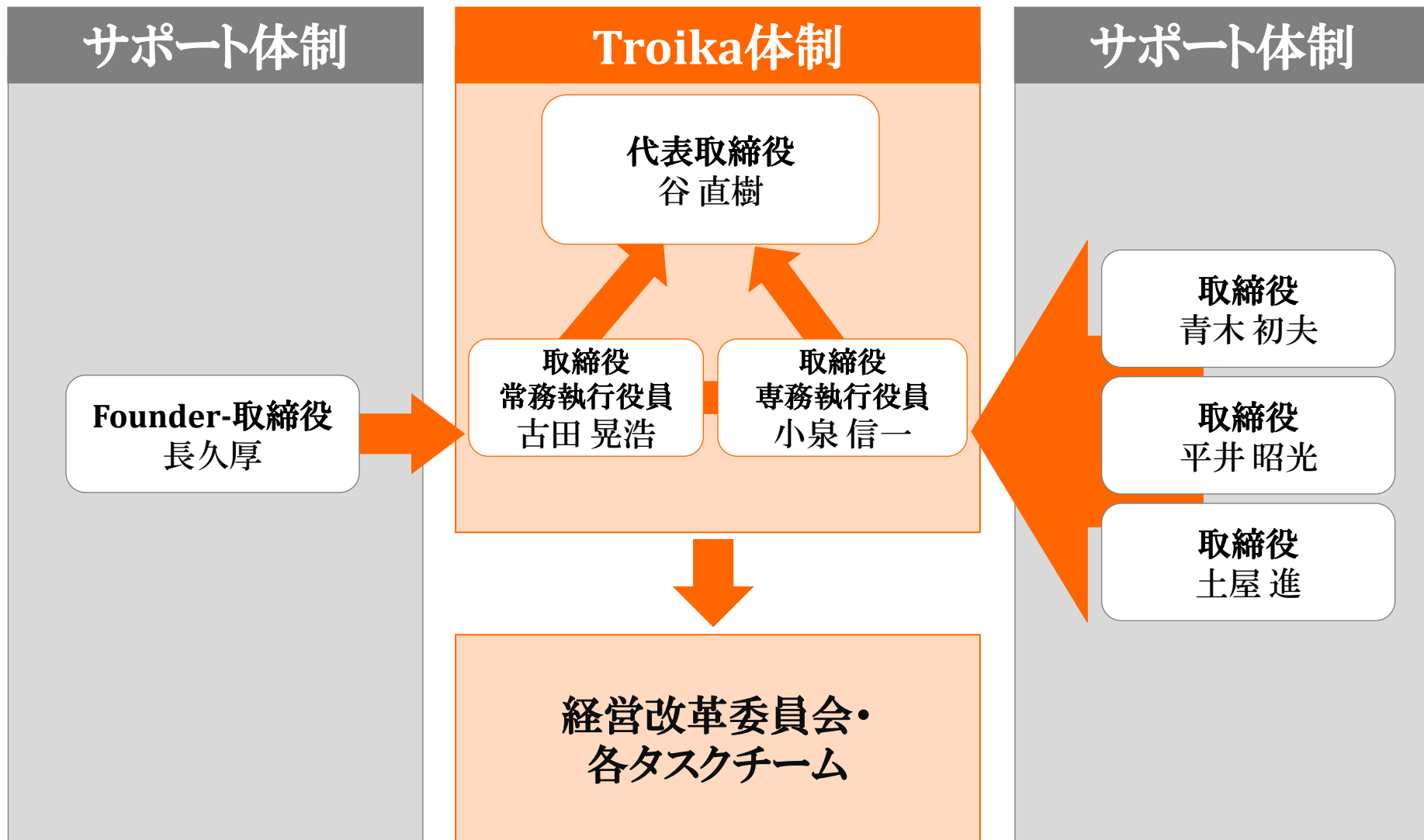
- Research Driveの強化と再生
- 開発プロジェクトの「選択と集中」と組織再編・確立
- 組織のスリム化

## 今後の進め方

- Task Forceによる基本方針の具現化
- タイムスケジュールは90日とし、新体制に完全移行



# 新体制 (Troika 体制) の概要



製薬業界実務



創業者スピリット



ラクオリア 第二弾ロケットの点火へ

# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



RaQualia  
innovators for life

問い合わせ先

TEL:0569-84-0700

E-mail:当社HPからお願いいたします。

<http://www.raqualia.co.jp>

ラクオリア創薬株式会社

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012